家庭園芸

クジャクサボテン

クジャクサボテンは、三～四月の気温上昇につれて徐々に休眠からさめるので、葉水と鉢に少しずつ水を与えます。そして、桜の花が散るころから屋外の午前中だけ日の当たる、風通しの良い場所へ出します。

植え替えは、苗では毎年この前に、親株は一年おきに花後に行います。過湿を嫌うので用土は水はけを良くするため、赤玉土の中～小粒を五、粗砂二、腐葉土二、くん炭一を混ぜて用います。鉢は小さめの素焼鉢が良く、鉢底五分の一ほどの鉢のカケラを入れます。植え替え時、古土は軽く落として根を横に広げ浅植えにし、倒れないよう支柱を立てておき、一週間過ぎてから水を与えます。お盆までは水と肥料をタップリ与えて生長させます。

八月後半からは潅水（かんすい）回数を減らして茎節を充実させ、十二月から二月まで断水します。肥料は五月から七月まで固型の油粕などを月一回、液肥（ハイポネックスなど）を月二～三回与えます。茎節が伸び過ぎたら、八十㌢前後のくびれた所で切り取り、さし木します。

（園芸センター）

生徒の視野を広げる 国際理解教育を推進
外国人日本語スピーチ大会も

日用品や食品など身の回りに輸入品が増えつつある今、国際社会の動きに私たちは無関心ではいられません。市では、こうした社会情勢に視野を開いてもらおうと、市内の学校で国際理解教育を進めています。

主なものとしては、英語の授業を手助けする外国人英語指導助手（AET＝アシスタント・イングリッシュ・ティーチャー）の派遣、中学生英語スピーチ大会開催、姉妹校提携、高校留学生交換などで、少しずつ対象を広げて成果を挙げてきています。

外国人スピーチ大会を2月15日開催

そんな中、市では外国人による日本語スピーチ大会を開催します。在住の外国人約十人が日本語で「私の中学生時代」「私の新潟体験」などのテーマで競います。市内在住の外国人は増えつつあり、公民館ではお国自慢の料理を教え合ったりして交流を深める姿も。ふだんからお互いの意思や文化・慣習の交流を大切にしたいものです。この機会に新潟の外国人の声や思いを聞いてみませんか。

日時 二月十五日午後一時半～三時
会場 市公会堂
問い合わせ 学校指導課（☎内線3244番）へ

本場の英語で 楽しい授業

一方中学校では、AET派遣の授業で生徒たちが楽しい雰囲気で本場の英語に触れています。この事業は昭和六十三年度から開始、英語教諭とチームを組み、外国人の生きた英語を聞いたり会話したりして、国際感覚を養うきっかけをつかんでもらうもの。現在九人のAETが在籍、授業時間数は年々増えて、今年度はこれまで二千三百四十以上の授業にAETが参加。教育の場でも国際交流への関心が高まってきています。

上山中学校（年一組では一月二十八日の授業にカナダ人AETのクロード・ジョンソンさんが参加。生徒一人ひとりと英語で質問を交換し答えるなど、いつもの授業と違いゲーム要素も取り入れた授業が進められました。

授業後生徒たちは「おもしろかった」「聞き取るのは難しいけどさらに教えてくれてよかった」「家に帰って家族に英語で質問してみよう」など楽しそう。

英語担任の山田央子先生は「英語で話さなければいけない中に立つので、自分から積極的に何かを英語で質問し、答えようと工夫するようになる」と、その効果の大きさを語ってくれました。

バルセロナへの道 ③（おわり）

新潟にやって来る七十人余りの選手たちはどのようにして勝ち抜き、アジア大陸代表の十二の座を得るのだろうか。次の二つの見かたがある。

①成績上位から九人選ぶ

この予選は総当たり。その成績で上位から九人を選ぶが、一位から九位までが自動的に選ばれるかというとそうではない。前回述べた「オリンピック出場枠は一協会（国・地域）から男女各三人まで」の取り決めがある。例えば男子の中国はすでに世界ランキングから二人がオリンピックに出場できる。新潟に出場する三人全員が九位以内に入ったとしても、通過できるのはあと一人だけ。したがってほかの協会の選手は、新潟で十位以下に終わってもオリンピックに出場できる可能性がある。

②アジア各地区から各一人

西・東南・中部アジアから新潟に出場する選手の中で、各地区最上位の選手男女各一人がオリンピックに出場できる。全体では下位でもバルセロナへの道は開ける。これも〝新潟を勝ち抜いた〟ことになるのである。

新潟を勝ち抜く

バルセロナオリンピック卓球競技アジア大陸予選会は、二月二十七日から三月一日まで鳥屋野総合体育館で開催されます。前売り券は市内の主なプレイガイド、組織委員会事務局などで好評発売中です。どうぞ早目にお求めください。

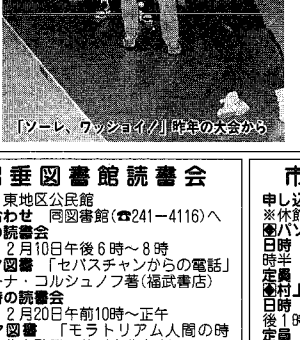
問い合わせ 同事務局（第二分館二階☎2260－3290）へ

◇　◇　◇

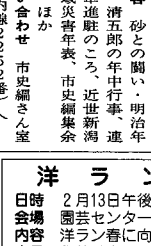
市民綱引き大会 参加チームを募集

市では第三回市民綱引き大会を三月に開催します。だれでも気軽に参加できる綱引き。簡単なルールですが正式なスポーツになります。地域や仲間同士の親睦に、ぜひチームを組んで参加してみませんか。

日時 三月八日午前十時～
会場 市体育館
対象 市内居住の十八歳以上の人（高校生は除く）
チーム編成 同一小学校区（やむを得ない場合は中学校区でも可）の人でチームを編成。監督一人、マネージャー一人、選手八人、交代二人（男子の部は合計体重六百㌔以内、女子の部は五百二十㌔以内）※監督・マネージャーは選手兼任可
申し込み 所定の申込用紙（鳥屋野総合体育館、西総合スポーツセンター、体育課、公民館にあり）に参加費千円を添えて二月十七日までに体育課、鳥屋野総合体育館、西総合スポーツセンターへ申し込みください。
問い合わせ 体育課（☎内線3274番）へ


「ソーレ、ワッショイ！」昨年の大会から

市史にいがた 第9号 好評発売中



新潟市史編さんの中間報告として、また手軽に読める歴史読み物として好評の市史にいがた第九号が市内の主な書店で発売中です。

価格 五百四十円（九十一ページ）
内容 砂との闘い・明治年代、清五郎の年中行事、連合軍進駐のころ、近世新潟市域災害年表、市史編集余話、ほか
問い合わせ 市史編さん室（☎内線2252番）へ

平成4年度 くらしのレポーター募集

仕事 四月から一年間、消費生活の意見、情報をお寄せいただきます。※報酬は、年二万八千円、対象は十八歳以上の人
応募 はがきに住所、氏名、年齢、職業、電話番号、性別、ふだん買物をするスーパー名を記入し市消費生活センター（学校町通一☎内線2412番）へ

少年少女スポーツクラブ 会員募集を市報に掲載

市内の少年少女を対象に活動しているスポーツクラブ・団体で、平成四年度募集要項を「市報にいがた」（三月二十二日号）に掲載希望の団体は、二月二十九日までに市体育協会（市役所第二分館二階体育課内）、鳥屋野総合体育館、西総合スポーツセンターへ申し込みください。所定の用紙を用意しています。

問い合わせ 市体育協会（☎2260－3274）へ

講演会
登校拒否が問いかけるもの
日時 2月16日午後1時半～5時
会場 県高校会館（川岸町2）
講師 東大附属病院医師・石川憲彦さん
参加費 700円（18歳未満は無料）
問い合わせ 近藤さん（☎388－2583）へ

有明児童センター（☎287－7311）
◉みんなでビデオ
日時 2月15日・29日午後2時～
内容 はれときどきぶた、名探偵ホームズ
◉すやきのおひなさまつくり
日時 2月22日午後1時半～
対象 小学生2年生以上15人
参加費 400円

沼垂図書館読書会
会場 東地区公民館
問い合わせ 同図書館（☎241－4116）へ
◉夜の読書会
日時 2月10日午後6時～8時
テーマ図書 「セバスチャンからの電話」イリーナ・コルシュノフ著（福武書店）
◉10時の読書会
日時 2月20日午前10時～正午
テーマ図書 「モラトリアム人間の時代」小此木啓吾・著（中公文庫）

料理教室
日時 2月20日午前10時～午後1時
会場 北部コミセン（附船町1）
内容 ロールポークのオランダ風、アップルチーズケーキ、ほか
参加費 500円　**定員** 25人
申し込み 会費を添えて管理事務所へ
※月曜日が休館

市高等職業訓練校
申し込み 会場（☎271－2535）へ
※休館日は月曜日
◉パソコン運用講座「MS－DOS」
日時 2月22・23日午前9時半～午後4時半
定員 先着20人　**参加費** 6,000円
◉村上堆朱彫刻教室
日時 2月23日～3月22日毎週日曜日午後1時半～5時
定員 先着30人　**受講料** 4,000円

中地区・北地区親善 バレーボール大会
日時 2月23日午前9時～
会場 山の下中学校・桃山小学校
対象 中地区・北地区在住在勤の成人1チーム15人　**参加費** 1チーム1,000円
種目 お父さん・ママさん各リーグ戦
申し込み 申込書で2月17日までに中地区公民館（☎271－0017）へ

洋ラン講座
日時 2月13日午後1時半～3時半
会場 園芸センター
内容 洋ラン春に向けての管理
定員 先着50人
申し込み きょう9日から電話で会場へ

にいがた女性会議
チャリティバザー
日時 2月15日午後1時
会場 女性センター（万代市民会館3階）
問い合わせ 吉田さん（☎222－6680）へ

台湾の家庭料理
日時 2月23日午前11時～
会場 北陸ガス・ガスホール
内容 えびの香草焼き、ほか
参加費 1,500円程度　**定員** 先着10人
申し込み 川瀬さん（☎247－7717）へ